

フード・アクション・ニッポンアワード

# 商品部門で優秀賞

新潟県  
山田錦協  
海外進出後押し

新潟県山田錦協議会が、農水省の表彰制度「フード・アクション・ニッポンアワード」の商品部門で、優秀賞を受賞した。北国では難しいとされてきた酒造好適米「山田錦」の栽培技術を確立し、日本酒の海外進出を後押ししている点が評価された。県内で本格栽培が始まって2年目で、栽培面積は100畝を突破。一層の面積拡大を目指していく。

新渕 謙一 会長

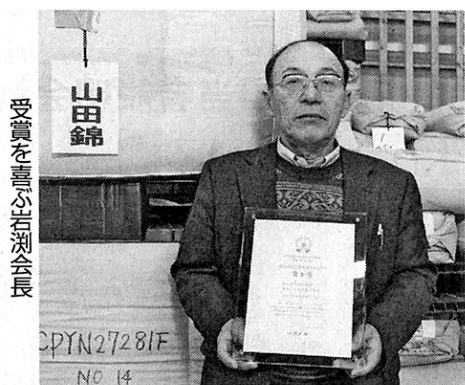
「山田錦」は高級日本酒の大吟醸酒の原料米と

「山田錦」は、生産者87人が130畝で栽培し

を始めた。

協議会は15年、県内のグループで立ち上げた組織だ。生産者が栽培技術を磨き、土質や気象に合った栽培方法を研究する場となっている。15年産

た。これは、前年産の3・2倍に当たる。生産量1万俵（1俵60キ）を目標として活動を続けている。



受賞を喜ぶ岩淵会長

協議会の事務局を務めるエコ・ライス新潟は「県内での地域差を克服し、

生産を伸ばすことが課題だ」と指摘する。岩淵志男会長は「受賞を励みとし、気概と責任を持って生産者のレベルを上げ、高品質安定生産を目指す」と意気込みをみせた。